

# 水害等で機器が濡れた場合

下記のような製品は、使わないで下さい。

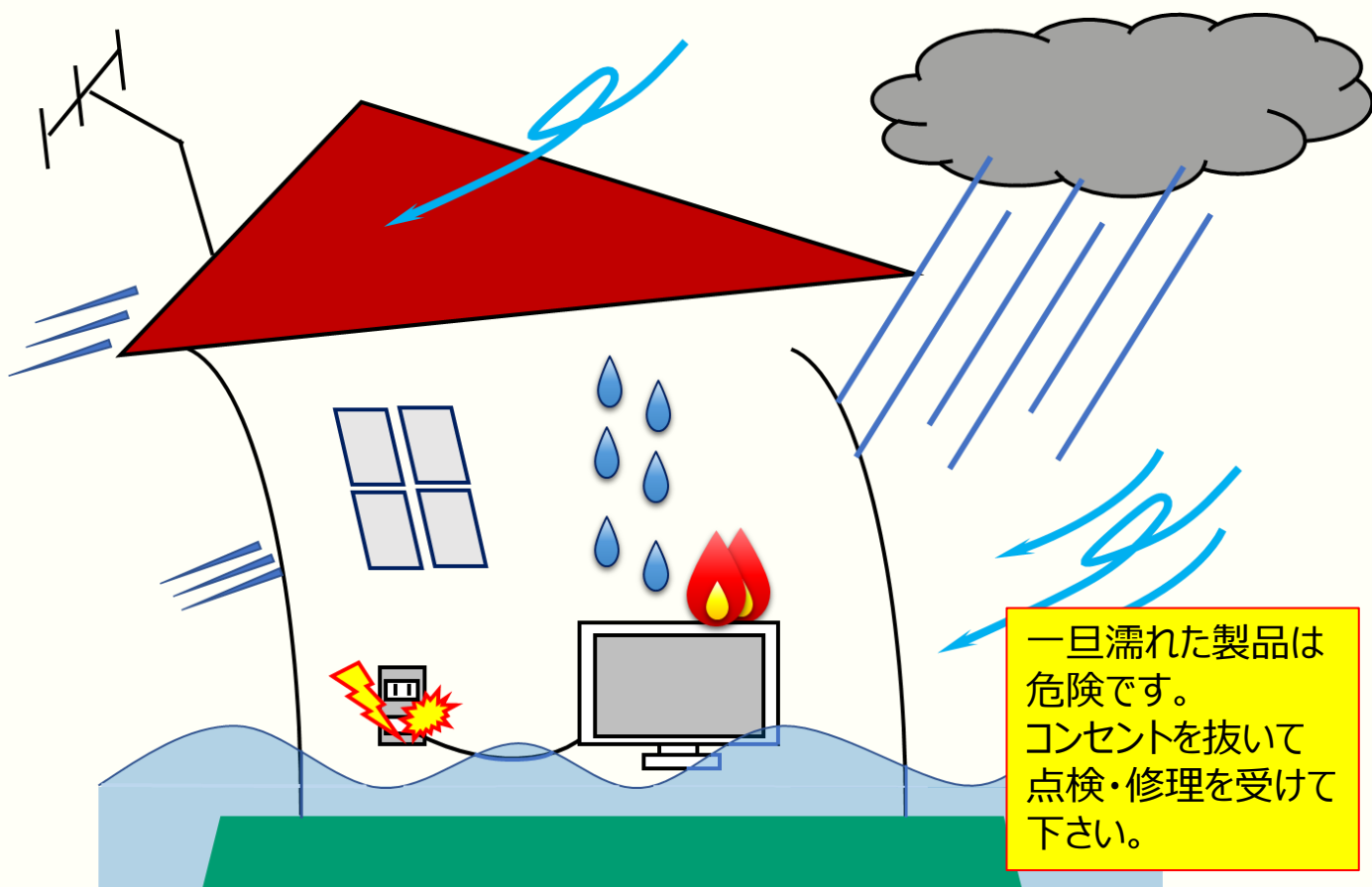


- ・濡れた形跡のある製品
- ・濡れている製品
- ・水没した製品

上記の製品は危険ですので、電源を入れずコンセントを抜く、またはブレーカーを切ってください。

これらの製品は、一見、問題ないように見えたり、製品が一時的に使用可能であっても、製品内に水分、泥や塩分が残っている可能性があります。そのままご使用になると、感電、漏電、発煙、火災が発生するおそれがあります。

そのまま使用せず、メーカー・販売店等で点検・修理を受けて下さい。



一旦濡れた製品は危険です。コンセントを抜いて点検・修理を受けて下さい。